

LG Electronics Inc. 御中

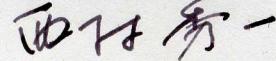
2014.10.10

イオナイザー殺菌試験報告書

国立病院機構 仙台医療センター

臨床研究部 ウィルスセンター

センター長 西村秀一



この報告書は LG Electronics Inc. の指定試験方法に従い, Plasmaster Ionizer に対して行った試験結果に基づくものです。

1. 試験実施日 : 2014.07.15

2. 試料 : Plasmaster Ionizer/日本認証用 2-7 (2014.7.7)

3. 試験方法

- ・ 菌の種類 : 腸球菌 (Enterococcus faecalis) (仙台医療センター保有)
- ・ チャンバー : 200L (仙台医療センター保有)
- ・ 試験方法 : membrane filter 法

4. 試験条件

- ・ 温湿度 : 22.7~23.6°C / 65.1~70.7~67.2%
- ・ 試験 Case : Fan+ Ionizer/ Fan (2 時間)

5. 試験結果

- (1) LG の ionizer は ozone が少ない ionizer であり, 殺菌効果が ozone によるものではないと認められる。
- (2) 生理食塩水で希釈した腸球菌で、fan 直下にあるとき、ある程度の殺菌効果が見られた。
- (3) Ion は、positive ion と negative ion が一定量存在するときに、生理食塩水で処理された腸球菌に対して一定の条件下で若干の殺菌効果が認められる。
- (4) 個々のデータは示さないが、ozone の生成は SHARP Plasma Cluster、PANASONIC Nano-e に比べ、非常に少ない。

LG Electronics Inc. 御中

2014.10.10

イオナイザー殺菌試験報告書
(詳細版)

国立病院機構 仙台医療センター

臨床研究部 ウィルスセンター

センター長 西村秀一

西村秀一

この報告書は LG Electronics Inc. の Plasmaster Ionizer に対して行った、殺菌試験結果に基づくものです。

1. 試験実施日 : 2014.07.16 ~ 08.13
2. 試料 : Plasmaster Ionizer /日本認証用 2-7 (2014.7.7)
3. 試験装置

ウィルスセンター保有の 200L チャンバー、クリーンベンチを用いて試験を行った。



図 1 200L チャンバー 外観



図 2 クリーンベンチ 外観